

※今回は、実例編をお届けします。

## 暮らしに必要なモノの“仕分け”は難しい。 だからこそ、収納スペースの確保は重要課題!!

いくら気を付けてはいても、長く暮らせば暮らすほど住まいにはモノが溢れがち。そんな状況を解決するのが造り付けの収納。既成の収納家具と比べ、デッドスペースも生まれず空間も機能的に使えます。また、整理が上手になるとデッドストック(たんすの肥やし)も減っていきます。今回のテーマは脱デッドスペース・脱デッドストック。収納を極めて、スッキリとした住まいを実現しましょう。

### 適材適所のリフォームで 収納の悩みを解決させましょう。

「見せる」「隠す」といった収納スタイルの選択や扉のチョイスによっても収納スペースの使い勝手は変わってきます。リビングやキッチン、洗面所、ベッドルームなどの場所によって、最適な収納スペースの造り方を紹介します。



#### ギャラリー感覚で好きな アイテムを飾れるリビング。

#### LIVING



テレビが薄くなったおかげで、空間の使い方がより自由になったリビング。大型テレビを中心に、ギャラリー感覚で様々なアイテムを飾れる収納がお勧めです。扉付きとオープン棚をうまく組み合わせて「見せる収納」と「隠す収納」を楽しみましょう。

写真提供:ギャラリー収納

#### 造り付けの収納で、動きやすく 機能的なキッチンを!

#### KITCHEN



ミセスの方にとっていつも収納に苦労させられる場所がキッチン。整理整頓を心がけていても、様々なモノが溢れます。既成の食器棚では、天井や床との間にデッドスペースが生まれやすく、奥行きも取られがち。キッチン背面に造り付けの棚を設ければ、収納力も今まで以上に高まり、キッチン自体も広々と使いやすくなります。地震の時にも倒れる心配もありません。扉に「耐震ラッチ」を取り付ければ、中身の飛び出しも防げます。

写真提供:TOTO

#### 雑然としやすい洗面所は、 隠す収納で解決!

#### LAVATORY



化粧品やヘアケア用品、ひげそり道具やリネン類などたくさんのモノで溢れやすい洗面所ですが、扉のある収納を造り付ければスッキリとした清潔感のある空間に変身します。ミラーの内側も全面収納になっているので、アイテムごとに整理でき便利です。



体重計もシンクの下にすっきり収納できます。

写真提供:TOTO

#### 将来を見越して、 壁一面を収納空間に!

#### BEDROOM



タンスの上に大小様々な箱が並び雑然としがちなベッドルーム。そんな状況を解消するなら、壁一面を収納スペースにするのがお勧めです。扉の内側は、棚や引き出し、ハンガーパイプなど自由に組み合わせることができます。下の写真のような引き戸にすれば、扉の開閉スペースも取らず、ベッドの設置が制限されることもありません。また、旅行バッグなどの大きなものの出し入れもスムーズです。



写真提供:ダイケン